

結 果 報 告

大会名	平成26年度第66回全日本総合ハンドボール選手権大会				
競技日	12月27日(土)	試合番号	4-3	回戦	準決勝
種別	男子・女子	会場	枇杷島SC・愛知県体育館		
Aチーム			Bチーム		
大同特殊鋼			琉球コラソン		
得点合計	小計		小計	得点合計	
22	7	前半	9	21	
	15	後半	12		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

【 戦 評 】

記載者氏名 澤田 光男

大会4日目の第3試合は大同特殊鋼と琉球コラソンの対戦。琉球コラソンのスローオフで試合開始。先制点は琉球コラソンの15番松信が挙げるが、大同特殊鋼の4番藤江が3連取、11番平子のサイドシュートが決まり、前半10分までに大同特殊鋼は3点差を付け、試合の流れを掴む。しかし、直後に大同特殊鋼は退場者を出し、琉球コラソンに試合の流れを渡してしまう。琉球コラソンは23番水野の得点を皮切りに5連取し、前半16分に逆転に成功。大同特殊鋼はたまらずタイムアウトを取り、その後は両者一進一退の攻防が繰り広げられ、前半を9対7で琉球コラソン2点リードで終える。

大同特殊鋼は後半始まってすぐに6番加藤、22番高の得点で同点に追いつく。そこからは両者、緊張感のある攻防が続き、後半24分まで同点。琉球コラソンは後半25分に退場者を出してしまい、そこから大同特殊鋼の3番野村、7番地引の得点で2点リードする。負けじと琉球コラソンは、1番棚原、終了間際に33番東長濱の得点により、同点に追いつく。会場の誰もが延長戦に入ると思ったが、残り2秒に大同特殊鋼の14番千々波が得点を挙げ、22対21で大同特殊鋼の劇的勝利。大同特殊鋼は明日の決勝に駒を進める。